

	一般的名称	報告の概要
627	チオテパ	固形腫瘍患者43例を対象とした大量化学療法の有効性の検討において、full dose regimen投与時のほうが、reduced dose regimen投与時と比較して有意にgrade4非血液毒性発生率が増加した。
628	クエン酸シルデナフィル	ダルナビル/リトナビルと本剤を併用した場合、本剤のCmax、AUCが高まることが示唆された。
629	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	健康女性18人において、ノルエチステロン及びエチニルエストラジオールとダルナビル/リトナビルの併用により、ノルエチステロン及びエチニルエストラジオールのAUC、Cmaxが低下することが示唆された。
630	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	健康女性18人において、ノルエチステロン及びエチニルエストラジオールとダルナビル/リトナビルの併用により、ノルエチステロン及びエチニルエストラジオールのAUC、Cmaxが低下することが示唆された。
631	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	1997年10月～2007年7月までに静注免疫グロブリンが被疑薬である脳血管障害10例(うち1例死亡)、血栓症6例、心筋梗塞4例、肺塞栓2例、一過性脳虚血発作1例が報告された。
632	ヨウ化プラリドキシム	日本臨床検査薬協会の統一プロトコールで各種血糖測定器を用いて行なわれたヨウ化プラリドキシムの血糖測定値に対する影響度の確認において、治療域と考えられる濃度範囲においても偽高値が認められた。
633	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	ビノレルピンを含む化学療法が開始された非小細胞肺癌患者を対象とした後ろ向き研究において、クラリスロマイシン併用によりビノレルピンの好中球減少が増強されることが示唆された。
634	ブドウ糖	ST上昇型心筋梗塞患者11462例を対象としたグルコース・インスリン・カリウム療法についての後ろ向き研究において、死亡、心不全等を対照群と比較したところ、有益性が見られなかった。
635	ニコチン含有一般用医薬品	マウスにおいて、皮下に結腸癌細胞を接種しニコチンを経口投与させたところ、接種した結腸癌の発育が加速することが示唆された。
636	ニコチン含有一般用医薬品	胃がん細胞を胃壁に移植した胸腺無形成ヌードマウスにおいて、ニコチンを3ヶ月経口投与したところ、癌領域がより大きく成長し、PCNA(増殖性細胞核抗原)染色や微小血管密度をそれぞれ70%,30%増加させた。
637	クレアチニンキット(体外診断用医薬品)	プール血清にドブタミンを添加し、トリンダー試薬と反応させる実験を行ったところ、測定値に負の誤差(数%-40%程)生じることがあり、過ヨウ素酸ナトリウムの添加により回避の可能性があることが示唆された。
638	ホリナートカルシウム	ステージII/III結腸癌患者1857例を対象としたアジュバント療法に関するランダム化臨床試験において、2例が腸敗血症(FLOx療法)で、3例が腸壁損傷と腸敗血症(2例FLOx療法、1例FL療法)にて死亡した。
639	スピロラクトン	心不全患者において、スピロラクトンを使用している場合、高カリウム血症発症リスクが高まることが示唆された。
640	ジゴキシン	標準治療を受けている心収縮機能不全患者において、ジギタリスの使用は、死亡や心不全による初回入院リスクを高めることが示唆された。
641	メチルジゴキシン	標準治療を受けている心収縮機能不全患者において、ジギタリスの使用は、死亡や心不全による初回入院リスクを高めることが示唆された。
642	テオフィリン	慢性閉塞性肺疾患(COPD)と診断された45歳以上のアメリカ退役軍人コホートから、テオフィリンを使用した患者では死亡率が高まることが示唆された。